

「戦争や紛争がない平和な世界」

二階堂小学校 6年 松本 侑己

今、世界では知らないところでいろいろなトラブルが起きています。例えば、ウクライナとロシアの間で戦争が起きていることを知っている人は多いのではないのでしょうか。しかし、ウクライナだけでなく、アフリカや中東の国でも紛争などの争いが絶えないことを知っていますか。

私は、戦争をする理由が気になったのでクロームブックを使って調べてみました。理由は主に5つあります。①「民族の争い」民族の違いから争いが起きることもあります。②「宗教の争い」先ほど挙げた「民族の争い」に似ており、宗教によって考え方が異なり争いが起きることもあります。③「資源の取り合い」金やダイヤモンドなどの鉱石類や、ウランや石油などの鉱物は高く売れます。それを国が取り合うことで争いが起こることもあります。④「政治の争い」例えば、一人や少人数が政治を独占する「独裁政治」が続いたときに、住民がその政治に反対して、内戦が起きることがあります。⑤「領土の争い」例えば、ヨーロッパの国がアフリカを支配する植民地時代に、ヨーロッパの人たちの都合でアフリカの国が勝手に分けられました。その時に引かれた国境線が実態に合わず、アフリカでは領土を主張する争いが起きたりしています。

私は、動物が好きです。しかし、戦争のことを調べているうちに、戦争をすることで人間だけでなく、動物たちが生活しやすい環境までも奪われていることに気づきました。また、紛争地の貧困問題も深刻です。SDGsでは17個ある項目の最初に「貧困をなくそう」という目標が定められています。戦争などをしてしまうと、SDGsの目標も守っていないことになってしまうのです。だから、私は戦争や紛争がない世界を目指したいのです。

では、戦争や紛争がない世界を目指すにはどうしたらよいのでしょうか。1つ目の提案としては、SDGsの項目に「平和で秩序が守られる世界を作ろう」などといった目標を作れば、ちょっとでも平和な世界に近づくと思います。私は、社会の授業で日本は戦争をしない「平和主義」を憲法で定めていることを学びました。「平和主義」を世界に広めれば、戦争が治まるのではないかと考えます。2つ目は、何事も知ることが大切だということです。私は、1学期に沖縄戦について学習しました。沖縄県に今でも米軍基地があることは知っていましたが、普天間基地が「世界一危険な場所」と言われていることや、沖縄の人たちの生活が暮らしにくいものになっていることを初めて知りました。知ってみると、解決策や戦争を強いられている国の人たちのために自分は何ができるのかを考えることができます。これからも日本だけでなく、世界でどんな戦争が起こっているかを知り、問題意識をもって平和な世界をつくるために考えていきたいと思っています。